

2023（令和5）年3月2日（木）～3日（金） 三原山（758m）& 椿祭り・「熱海組」2日目レポート

～Report by 吉松～

文さん、石井さん、吉松の「熱海港出航3人組」は、初日の三原山ハイキングをしっかりと楽しみました。山頂の風は相当なものでしたが、何とか無事に御鉢巡りも出来ました。来られなかった堀さん、池戸さん、雄さんは本当に気の毒でしたが、海が荒れたのでは仕様がありません。

昨日は、どうやら我々が乗ったジェット船以外はすべて欠航になったらしく、泊った大島温泉ホテルはガラガラ。こんなゆったりした、貸し切り状態のホテルライフも初めての体験です。

大島に渡ってくる船の欠航は、月に一回くらいのペースであるそうで、ホテルの従業員も慣れたもので、少しも慌てているようには見えませんでした。

昨晩は、文さんは9時前には布団に潜り込み、石井さんと吉松も10時位には床に就きました。しっかり睡眠をとり翌朝5時頃ゴソゴソと起きだして朝風呂に入りました。朝食は7時からなので、何とものんびりした朝を迎えました。



6時過ぎ、太陽が昇ってきた。

昨日とは違って風がほとんどない。
今日は昨日に増して良い天気だ。



太陽が昇りきると三原山の雄姿がホテルの真ん前に姿を現した。
低山だけど、なかなか雄大な山である。

ひと風呂浴びてもなお時間がある。部屋でゴロゴロしながら7時からの朝食を待った。
強風で閉められていた屋上テラスにも、今日は出られた。ホテルからはどこからでも三原山が望める。



朝食は7時から

客は少ないのに、量、質ともに満足できるバイキングコースが準備されていた。



どれもこれも食べたい放題なのだが、イセエビの味噌汁だけはお一人様一杯の注意書きが・・・

イセエビの身も入っていて、美味しいものでした。



本日は、椿を求めて「椿・花ガーデン」と「東京都立大島公園」に行く計画だ。ホテルからのバス出発は、9時37分。長いこと部屋でブラブラした後、9時半くらいになってやっとロビーに下りて行った。



受付の女性に撮ってもらった写真

ロビーで撮るクマさん会旗も捨てたものではない。

定刻通り9時37分発のバスは来た。勿論、バスもガラガラ！



10分ほどで椿・花ガーデンに到着



入り口の受付では古老が迎えてくれて、丁寧に説明をしてくれた。

40年、このガーデンの面倒をみているとのことだった。古老が手塩にかけて守ってきた庭のようだ。

早速、古老自慢の園を散策



大小の椿、紅白の花、まだらの花など様々な
椿を見ることが出来た。

良い香りのする椿もあった。

あまりに種類が多くて、全てを紹介できな
い。



園内には芝生の広場（富士見の丘）があり、そこには展望台もある。

石井さんと一緒だと、カメラが向けられたら何やらポーズをとらないとまずい！と思うから不思議だ。



園内の「うさぎの森」

餌をやると、どこからともなくワンさとウサギが寄ってくる。



園内に観光客が少しずつ増えてきた。今日の船便で到着した人たちのようだった。
園を一巡りした我々は、雄さんのスケジュールにのっとって、一旦タクシーで岡田港へ移動した。
昼食を、岡田港建物内の「海のキッチン」でとることにした。



コーヒープレイクや昼食で何度も利用した
「海のキッチン」
船の入出港のたびに繁盛している。

気立ての良い女性が窓口にて、石井さん
などはお友達状態！

昼食は、島の名物「べっこう寿司」と「べっ
こう寿司&カリフォルニアロール」



べっこう寿司



べっこう寿司&カリフォルニアロール

昼食も済み人心地ついたところで、タクシーで東京都立大島公園へ移動
タクシーは、個人タクシー「あいタクシー」を利用
律儀で話し好きな運転手であった。

***どうやら「東京都立」というところは大切なようで、確かに島人口7000名ほどだけでは維持できないほどの
の広大で整備の行き届いた公園であった。**

従業員に「立派な公園ですね」と声を掛けると、「東京都立ですから」と誇らしげである。



大島公園「椿園」は、椿まつりの真っ最中
(椿祭りは期間が長く、1月末ごろから3
月末くらいまで)

昨日の船便欠航のため、この時間でも未だ
客はまばらであった。
ブースにいた若くて気立ての良い女性が、
我々の集合写真を撮ってくれた。



*ところで、「あんこ」とはお姉さんのことらしい。

もしかしたら、若い女性というよりは、少し年のいったの女性のことを言うのかな？

椿園に入る前に、「椿資料館」を見学
 椿の切花展示はなかなかのものでした。



椿資料館

未だ新しい建物で、見ごたえのある展示を楽しんだ。



いざ、椿園へ！！ 園の中には展示温室もあって簡単には見尽くせない！！

園芸品種約1000種3200本、ヤブ椿（自生種）約5000本（何しろ東京都立で日本最大規模）





先の方に見える**展示温室**を出たところで、
歩き疲れて東屋で休憩



まだまだ見どころはあったが、切が無いので少し海の方に下っていくことにした。

「つばきの広場」と名付けられたあたりだ。ツバキ以外の花も見られる。



「つばきの広場」へ

大島桜やモクレンの花も楽しめた。

下った先には海岸が広がってくる。



さらに下って、「**海岸遊歩道**」を歩いて椿園の入り口まで戻ることにした。

海岸通りというよりは、海岸の崖の上いうべきか？ 海拔15mの標識もあった。



海岸通りを20分くらい歩いて、やっと椿園に向かう舗装道に出た。



大島公園の一角には動物園もあるのだが、港に戻る時刻が迫ってきたので見学は諦めた。
その代わり、椿園に向かう舗装道路で野うさぎが飛び出し、木の上をサルが渡っていくのを見ることが出来た。

14時40分椿園発のバスに乗り、岡田港に向かった。10数分で岡田港に到着
熱海港行きのジェット船出航まで小一時間ほど時間がある。再び「海のキッチン」で、喫茶タイム
「海のキッチン」受付のお嬢さんとは、すっかり顔見知りになってしまった。

我々が乗船する東海汽船ジェット船は既に待機していた。

15時50分、離岸。最初の寄港地伊東港に向けて快適に航行
伊東港から熱海港までもほとんど揺れを感じないまま、順調に航行



我々3人が乗船したジェット船





16時55分、時刻通りに熱海港到着した。

今回の伊豆大島行は、期待をはるかに超えて素晴らしかったです。何しろ、これほど多くの椿を見たことがありませんでした。一生分はおろか、二生分の椿を見たと思いました。

*石井さん・・・早速ご家族から、我々も連れて行けとの連絡が入っているようでした。
本人は、連れて行かねばなるまいと覚悟を決めているようです。

*文さん・・・明言されていませんが、ご家族孝行のために覚悟の臍を固めているか？

*吉松・・・来年の椿シーズンに細君を連れて行こうと思いました。自分自身も、もう一度見たいもの
だと思いました。

我々の感動が、一緒に参加できなかった堀さん、池戸さん、雄さんを突き動かしたらしく、リベンジの大島
行が急遽計画されました。

そのレポートも楽しみです。